



自ら問いを立て 学び続ける力の育成

—学校図書館との対話を通して
(中学校社会科の授業を例に)—



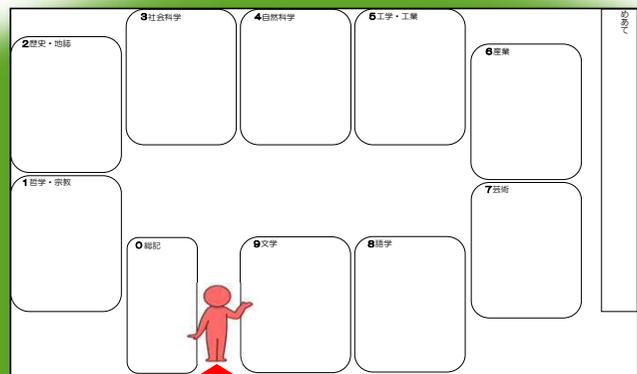
多面的・多角的な見方・考え方

図書分類を 考えを整理する
枠組みとして使う

さまざまな情報が「分野ごとに整理されている」という
学校図書館の機能を活用し、もの見方や考え方を、
具体的に体験できる授業の工夫をしてみませんか？



整理 比較 関連付け



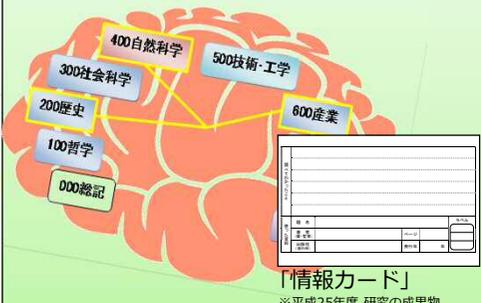
図書館の「人口」 「分類ワークシート」

情報1
WWFが熱帯雨林を救うために世界中から資金を募り100万羽以上の鳥を熱帯雨林の保護に地球の緑の救世主として活躍している。WWFの活動は、熱帯雨林の保護だけでなく、生物多様性の保全、気候変動の緩和、持続可能な開発の推進にも貢献している。

情報2
人間の活動がもたらした大きな影響により、地球の生態系は大きく変化している。地球温暖化による気候変動、海面上昇、生物多様性の喪失など、地球の未来は深刻な危機に瀕している。

情報3
地球温暖化の原因は、エネルギーの多くが化石燃料から産出していることによる。化石燃料の燃焼によって排出される二酸化炭素は、地球温暖化の主要な原因となっている。

自分の考え
地球温暖化を止めるためには、再生可能エネルギーの活用と省エネの徹底が必要である。また、個人レベルでも、エコライフを送ることで貢献できる。政府や企業にも、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを期待する。



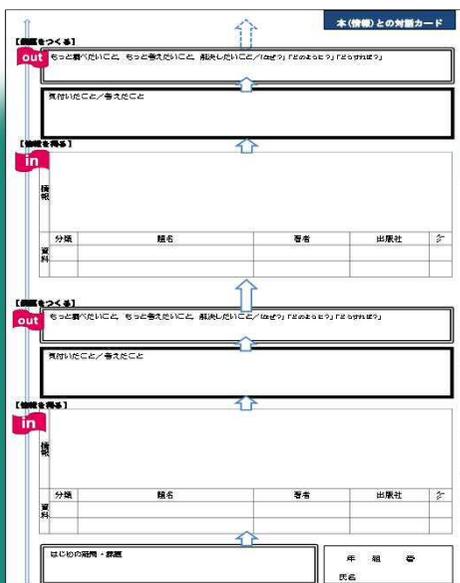
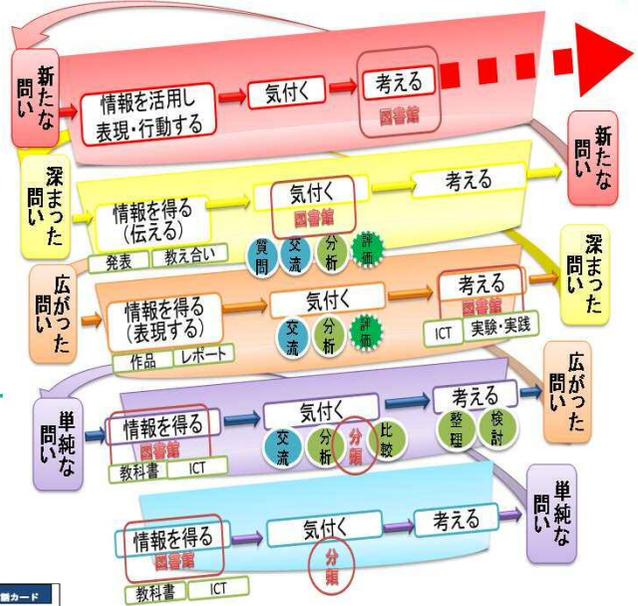
「情報ワークシート」

異なる図書分類の情報を組み合わせる自分の考えを作る学習に取り組みます。「情報カード」を複数組み合わせたワークシートで、様々な視点から考えることができるよう工夫しています。

自ら問いを立て 獲得する学び

対話と可視化の要素を活かし
子どもが自ら立てる問いをもとに学びを進める

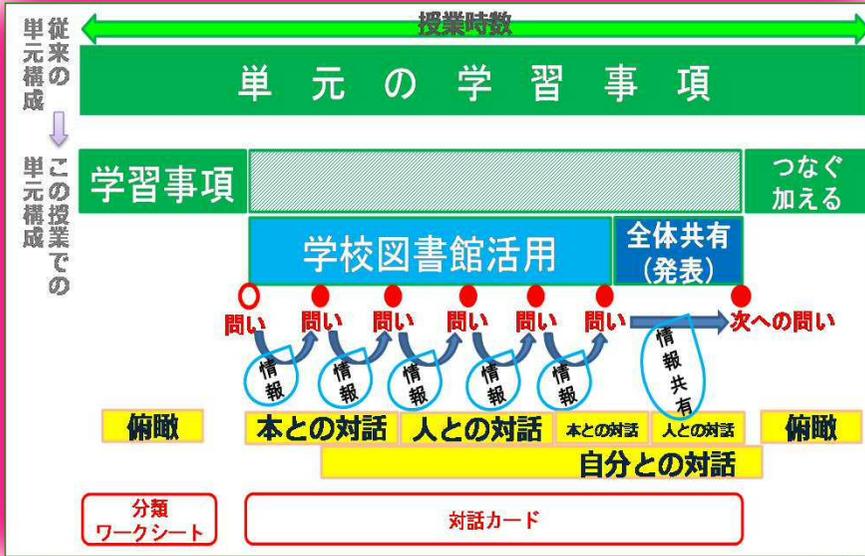
学校図書館では、さまざまな対象との対話的な学習が可能です。また、情報と思考を紐づけて記録していくことも可能です。それらを活かし、子どもの中に生まれる「なぜ？」という問いをかきたて、子ども自身で学びを獲得するような授業を組み立ててみませんか？



「本(情報)との対話カード」

「人との対話カード」

「自分との対話カード」



④自分との対話

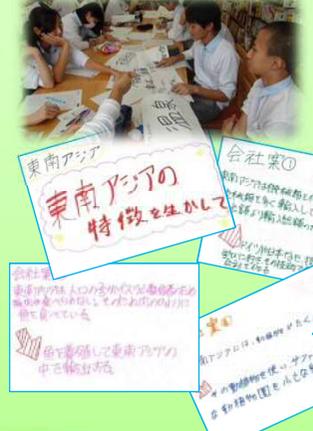
一連の学習を終えたところで、「自分との対話カード」を使って「学習内容」と「学び方」について振り返ります。それらを踏まえて、次の学びにつなげる問いを立て、学習を終えます。この問いが子どもの学びの世界をさらに広げます。

ゴール

学び方を振り返る

次につながる問い

学習内容を振り返る



自分との対話カード

3 「学び方をふりかえる」

学習をどのように進めてきたか、学び方について新しい発見はあったか。

いとなり、こんな会社にするかかき考えるのどなく、まずは、その地域の様子から知る必要あり。

わそうと、その地域に合った会社と考えるため、人々にとって、役に立つからもうけよう。

【情報を得る】人の意見や質問をもらうことは、自分の学習にどのように役立ったか。

自分とは、違う目線から、私の提案を聞いて、考えてくれるため、私自身がなかった意見や疑問を持ってもらえる。

私の考えと提案の内容がどんなふうに受け、良い提案となんか。

4 「次の学びにつなげる」

次に学習するとき追究したいこと（もっと詳しく知りたいこと、もっと知りたいこと、調べたいこと）

ICT関連産業をしたことによる国の変化

疑問として残っていること

其せ ICT 関連産業は、国内用より輸出用と多く生産するの？

→ 国内用をつくり、国がかきとく及ぶつたけえ良いのでは？

5 「学んだことをふりかえる」

自分が学習してきた課題

南アジア（もういっぺんにどのよう会社をやるか）

わかったことや考えたこと

・インド→教→カースト制度…職業ごとに区分された身分

・ICT関連産業 情報と通信と関係 技術と目もいる産業。

・農業

- ・ガンジス川流域…稲の栽培
- ・インダス川…小麦 2016米の栽培

・国民の約70%が農民

・農業の技術が発展

→ 輸出用・ソフトウェアと世界に影響力を与えている

スタート

学習事項を分類することで…

- ①意味や内容を考える。
- ②わからないことは子ども同士で確認しあう。
- ③わかるまで教科書や資料を何度も読み返す。

さまざまな学習展開

- ①学習内容を俯瞰。
- ②分野・単元・教科間を比較・関連付け。
- ③キーワードを使って自分の言葉で説明。

学び合いを通して…

- ①物事に多面性があることに気付く。
- ②多角的な視点に気付く。



教科書や図書資料からキーワードを抜き出し「分類ワークシート」に分類していきます。全体を俯瞰、比較、関連付けながら最初の問いを立てます。

①最初の問いを立てる

③人との対話

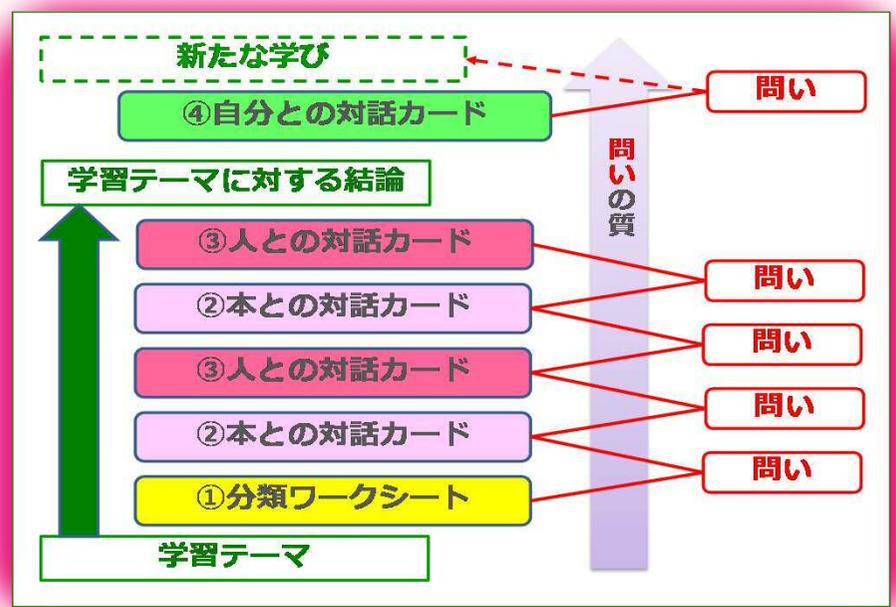
「人との対話カード」を使って自分の学習を振り返り、伝え合う活動を行います。人との対話を通して得た気づきを活かして、更に**問い**を立てます。

問い
もっと調べたいこと、もっと考えたいこと、解決したいこと
ICT関連産業が作るものとそれが世界へ与える影響

気付いたこと 疑問に思ったこと
気付いたこと/疑問に思ったこと(なぜ?) (どのように?) (どうすれば?)
ICT関連産業が作るものが、世界へ影響を与えているか、

人からもらった意見・質問
【アイデアをもらう】
みんなからもらった意見・質問
ICT関連産業が世界にどんな影響を与えているか、

学習したことを伝える【学習の振り返り】
「最初の疑問」
レベルアップさせた課題
わかったこと + これまでに考えたこと
・ヒンドゥー教には、カースト制度があり、職業の範囲が限定される。
・ICT関連産業はカースト制度の影響を受けないため、人々、みんなが働きやすい。
↓
「輸出・ソフトウェア」が世界に影響を与えるものも作っている。
もっと調べたいこと、もっと考えたいこと、解決したいこと、壁にぶつかっていること



②本(情報)との対話

「本(情報)との対話カード」を使って「最初の**問い**→情報を得る→**気付く**→更に**問い**を立てる…」を繰り返すことで、子ども自身で学習を広げたり深めたりしていきます。

問い
もっと調べたいこと、もっと考えたいこと、解決したいこと
ICT関連産業は具体的にどんな影響を与えているのか?

気付いたこと 疑問に思ったこと
気付いたこと/疑問に思ったこと(なぜ?) (どのように?) (どうすれば?)
ICT関連産業はカースト制度の影響を受けないのか、みんなが働きやすい、

本からの情報
【情報を得る】
農業(インド) (カンスタル 洗練された栽培) (インクスタイルと米の栽培) ↔ 工業(インド) (情報通信技術(ICT)関連産業) (情報や通信に関連する技術を用いた産業) (カースト制度の影響と関係性)

分類	題名	著者	出版社	ず

問い
もっと調べたいこと、もっと考えたいこと、解決したいこと
ヒンドゥー教は身分が下の人々の職業

気付いたこと 疑問に思ったこと
気付いたこと/疑問に思ったこと(なぜ?) (どのように?) (どうすれば?)
職業が限定される中で、どのように働いて、高い収入を得るために、どのような工夫をしているか、

本からの情報
【情報を得る】
カースト制度 (インド) (身分格差や低い職業を担任に区分した伝統的身分制) (ヒンドゥー教の職業の範囲が限定される) (南アジア、インドの諸国にも見られる)

分類	題名	著者	出版社	ず

最初の問い
最初の課題
ヒンドゥー教の生活、特徴



学校図書館での学びを支える「連携・支援」

ブックトーク

資料の相談

資料の準備

学校司書

“ねらい”の共有

公立図書館

教師

学びの見取り

身近で現実的

追究し続けられるテーマ

学習事項を使う必然性

子どもの学びの状況を見取る「対話カード」

子どもの学びを活かした授業

学びの方向性を見取り 支援する

詳しくは…
京都市総合教育センター研究課のホームページへ
論文・成果物(ワークシート)をご活用ください。

京都市総合教育センター

学校図書館との対話

「なぜそうなるのか」や「単純に〇〇はどうなるのか」など1つの疑問を
奥深くうきかきすることができるので知識が増えた。
また、その疑問から様々なしてんから意見をもらうことができるので
考え方や見方が変わった。

京都発！確かな教育実践のために 32

自ら問いを立て 学び続ける力の育成

— 学校図書館との対話を通して（中学校社会科の授業を例に） —

発行 平成29年3月

発行元 京都市総合教育センター

研究課・カリキュラム開発支援センター

〒600-8023 京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075-371-2705 FAX 075-353-4851